

2025 年 10 月 28 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【日米首脳会談】

本日（2025 年 10 月 28 日）、高市早苗首相とトランプ米大統領は、東京・元赤坂の迎賓館で会談した。

高市首相は、日米関係の良好な繋がりを強調した。

トランプ米大統領は

「この関係はこれまで以上に強いものとなるだろう。我々は最も強固な水準の同盟国だ」と表明した。

そして、さらに、

「日本は軍事能力を大幅に増強している。米国は日本から大量に新たな軍備品の注文を受けている」と話した。

トランプ米大統領には、日本の軍事費拡大及び、米国への投資の言質を取る腹積もりがあるのだろう。

「日本から米国への投資 80 兆円」の約束事に関しても、日本からの確約を取ることも、彼の頭には入っているはずだ。

+++++

今回の首相指名に関しては、水面下ではトランプ政権は高市氏を支持していた可能性が高い、と考えます。

それは、高市氏が、安倍元首相の政策を受け継ぐだろう、と推測できるから。

トランプ米大統領と安倍元首相の親密な関係は有名でした。

そう考えると、トランプ米大統領が安倍元首相の夫人と面談したことなどが、布石になっている、と考えられます。

今後のトランプ米大統領が、日本に要求してくるものは、多方面であり、金額も大きなものになるのだろう、と危惧しています。

そして、高市首相は、米国の要求に沿うように最大限の努力するのだろう、と考えます。

換言するならば、今後の日本の政策が、トランプ米大統領にとって、より都合の良いものになる可能性が高い、と考えます。

+++++

今後のマーケット（金融市場）を考える際に、上述の日米関係をベースにする必要がある、と考えます。

マーケット（金融市場）を考察する際に、正論をかざすのではなく、水面下も考察する必要がある、ということです。

そして、何よりも、トランプ政権が何を望んでいるのか、といった付度（そんたく）をする必要がある、ということ。

正直な気持ちを述べるならば、「付度（そんたく）」などは大嫌いなのだが、相場で勝つためには、それが必要、ということ。

相場は、勝てば官軍負ければ賊軍なのだから、きれい事ばかりを言ってはいられない、ということなのでしょう。

正論を、堂々と言える時が、いずれ必ず来る、と、個人的には信じていますが・・・。

+++++

+++++

（2025 年 10 月 28 日東京時間 13：50 記述）